

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月10日

上場会社名 美濃窯業株式会社

上場取引所 名

コード番号 5356 URL <http://www.mino-ceramic.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 滋俊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理部門管掌兼 総務部長 (氏名) 中尾 晴一郎

TEL 052-551-9221

四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	6,344	5.4	148	—	173	157.5	95	573.8
25年3月期第3四半期	6,017	△9.1	11	△95.7	67	△77.5	14	△84.1

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 232百万円 (593.9%) 25年3月期第3四半期 33百万円 (△44.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	9.16	—
25年3月期第3四半期	1.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第3四半期	11,294	—	6,977	—	56.4
25年3月期	11,261	—	6,794	—	55.1

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 6,369百万円 25年3月期 6,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
26年3月期	—	2.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300	6.5	350	166.1	370	48.5	200	82.5	19.14

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	12,909,828 株	25年3月期	12,909,828 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	2,460,851 株	25年3月期	2,460,808 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	10,449,189 株	25年3月期3Q	10,257,862 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ脱却に向けた政府の各種政策により、極端な円高の是正、株式市場の活況を背景に、景況感の改善が見られ、緩やかに回復しつつありますが、欧州・新興国の景気動向及び消費税増税後の景気減速懸念等で先行きは不透明な状況となっております。

当社グループを取り巻く経営環境は、主要顧客であるセメント業界においては、復興需要の継続や公共投資の増加により景況が改善したことに加え、環境分野における受注好調により「耐火物事業」は好調に推移しました。一方、「プラント事業」は当社の顧客である業界の設備投資が依然として厳しい状況が続いており低迷が続きました。「建材及び舗装用材事業」は公共投資の受注が堅調に推移し、大幅な改善を達成しました。

このような状況のなか、当社グループは、事業環境の動向を常に把握し、変化に対応して継続的に業績を改善できるよう、企業集団の連携を図りました。また、円高是正による原燃料価格の高騰による影響を最小限にとどめるため、在庫の適正化をはじめ、トータルコストの削減に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高6,344百万円（前年同四半期比5.4%増）、営業利益148百万円（前年同四半期比1,186.9%増）、経常利益173百万円（前年同四半期比157.5%増）、四半期純利益95百万円（前年同四半期比573.8%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産の状況)

流動資産は有価証券が減少したものの、たな卸資産が増加したことなどにより全体としては8,275百万円（前連結会計年度末比326百万円増）となりました。固定資産は、長期性預金の減少などにより、全体としては3,019百万円（前連結会計年度末比293百万円減）となりました。その結果、資産合計では、11,294百万円（前連結会計年度末比33百万円増）となりました。

#### (負債の状況)

流動負債は、賞与引当金が減少したものの、1年内償還予定社債の増加などにより、全体としては3,440百万円（前連結会計年度末比303百万円増）となりました。固定負債は、社債の減少などにより、全体としては876百万円（前連結会計年度末比451百万円減）となりました。その結果、負債合計では、4,317百万円（前連結会計年度末比148百万円減）となりました。

#### (純資産の状況)

純資産は、その他有価証券評価差額金が増加したことにより、6,977百万円（前連結会計年度末比182百万円増）となり、自己資本比率は56.4%（前連結会計年度末比1.3ポイント増）となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、平成26年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月10日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,445,987	2,381,464
受取手形及び売掛金	3,006,423	2,977,376
有価証券	348,952	206,098
たな卸資産	1,746,314	2,249,229
その他	405,803	464,747
貸倒引当金	△4,407	△3,201
流動資産合計	7,949,074	8,275,715
固定資産		
有形固定資産	1,429,157	1,449,367
無形固定資産	71,682	51,073
投資その他の資産		
投資有価証券	1,164,014	1,187,257
その他	665,871	349,194
貸倒引当金	△18,593	△17,868
投資その他の資産合計	1,811,292	1,518,582
固定資産合計	3,312,132	3,019,024
資産合計	11,261,207	11,294,740
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,655,323	1,619,246
短期借入金	830,000	830,000
1年内償還予定の社債	—	400,000
未払法人税等	47,300	14,579
賞与引当金	203,680	108,475
役員賞与引当金	3,500	2,000
製品保証引当金	23,346	18,561
工事損失引当金	8,028	11,553
その他	366,425	436,312
流動負債合計	3,137,603	3,440,727
固定負債		
社債	400,000	—
退職給付引当金	589,640	564,619
役員退職慰労引当金	233,942	185,996
資産除去債務	44,474	42,460
その他	60,566	83,918
固定負債合計	1,328,623	876,994
負債合計	4,466,226	4,317,721

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	877,000	877,000
資本剰余金	440,309	440,355
利益剰余金	5,294,561	5,341,129
自己株式	△590,691	△590,778
株主資本合計	6,021,179	6,067,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	185,800	301,680
その他の包括利益累計額合計	185,800	301,680
少数株主持分	588,000	607,631
純資産合計	6,794,980	6,977,018
負債純資産合計	11,261,207	11,294,740

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	6,017,026	6,344,073
売上原価	4,911,757	5,027,941
売上総利益	1,105,268	1,316,131
販売費及び一般管理費	1,093,698	1,167,231
営業利益	11,570	148,899
営業外収益		
受取利息	4,409	4,326
受取配当金	17,977	22,735
補助金収入	34,156	200
その他	11,374	11,680
営業外収益合計	67,917	38,941
営業外費用		
支払利息	11,090	10,841
その他	1,049	3,600
営業外費用合計	12,139	14,442
経常利益	67,347	173,398
特別利益		
固定資産売却益	283	22,707
受取保険金	812	4,378
その他	—	3,963
特別利益合計	1,095	31,050
特別損失		
投資有価証券評価損	2,398	1,738
減損損失	—	12,390
災害による損失	5,639	1,444
その他	779	186
特別損失合計	8,816	15,758
税金等調整前四半期純利益	59,627	188,690
法人税、住民税及び事業税	23,527	16,970
法人税等調整額	10,902	58,117
法人税等合計	34,430	75,087
少数株主損益調整前四半期純利益	25,196	113,602
少数株主利益	10,991	17,888
四半期純利益	14,205	95,714



【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	25,196	113,602
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	8,316	118,958
その他の包括利益合計	8,316	118,958
四半期包括利益	33,512	232,560
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,064	211,594
少数株主に係る四半期包括利益	11,448	20,966

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	耐火物	プラント	建材及び 舗装用材	不動産 賃貸	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	2,306,587	2,337,454	1,330,824	32,327	6,007,193	9,832	6,017,026	—	6,017,026
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	689,580	—	9,527	7,053	706,161	26,727	732,888	△732,888	—
計	2,996,167	2,337,454	1,340,352	39,381	6,713,355	36,559	6,749,915	△732,888	6,017,026
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	△81,943	168,467	△16,813	22,461	92,171	2,054	94,225	△34,598	59,627

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外注事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△34,598千円には、セグメント間取引消去△20,249千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,788千円、及びたな卸資産の調整額△12,561千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない投資有価証券評価損であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	耐火物	プラント	建材及び 舗装用材	不動産 賃貸	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	2,614,035	1,991,550	1,685,027	34,262	6,324,876	19,197	6,344,073	—	6,344,073
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,144,780	—	10,565	7,053	1,162,399	27,148	1,189,548	△1,189,548	—
計	3,758,816	1,991,550	1,695,592	41,316	7,487,276	46,345	7,533,621	△1,189,548	6,344,073
セグメント利益	101,977	37,650	37,523	24,646	201,798	3,315	205,113	△16,422	188,690

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外注事業等を含んでおります。  
 2 セグメント利益の調整額△16,422千円には、セグメント間取引消去△18,447千円、各報告セグメントに配分していない全社費用10,666千円、及びたな卸資産の調整額△8,641千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない投資有価証券評価損であります。  
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において遊休資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額したことにより、12,390千円の減損損失を計上しております。